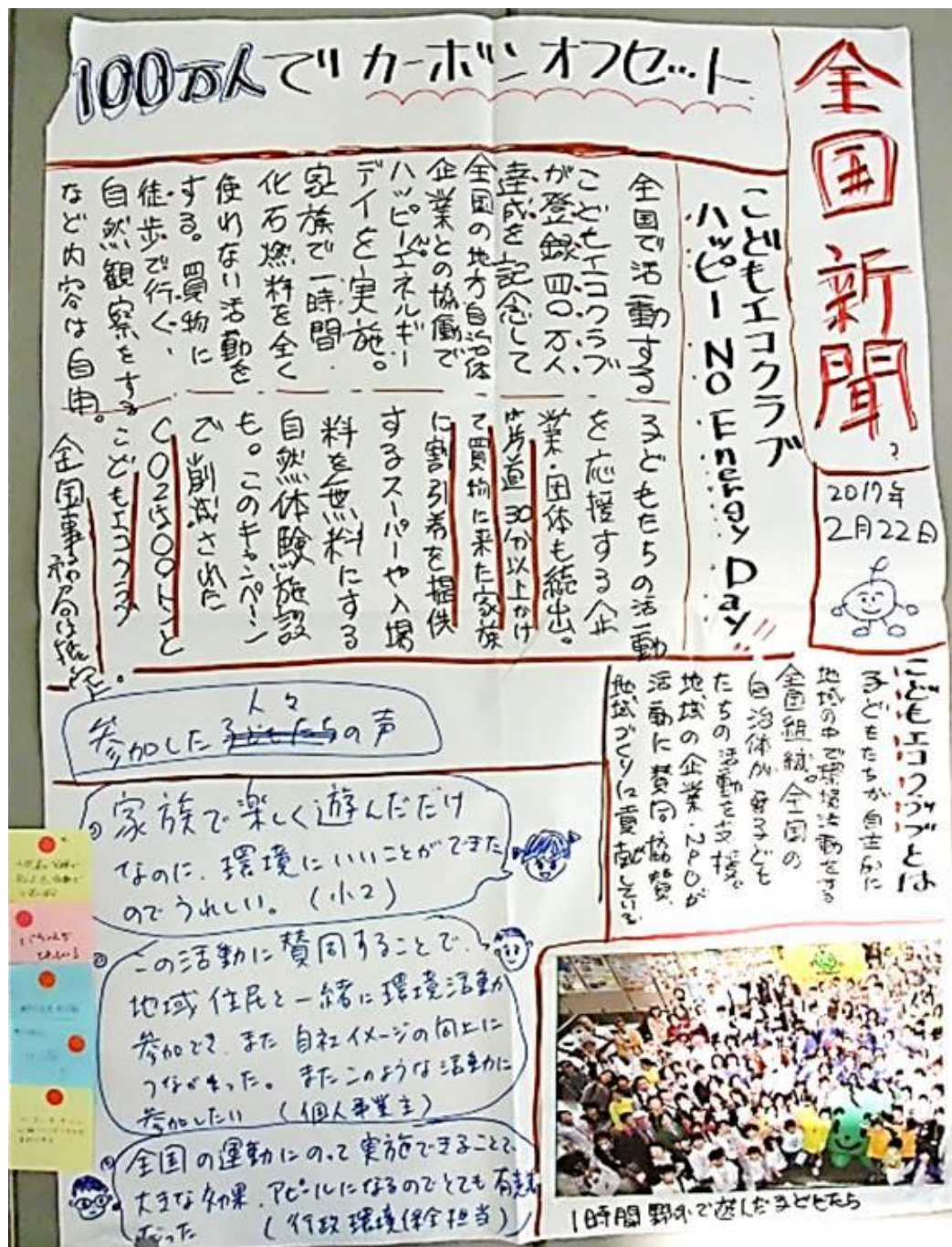
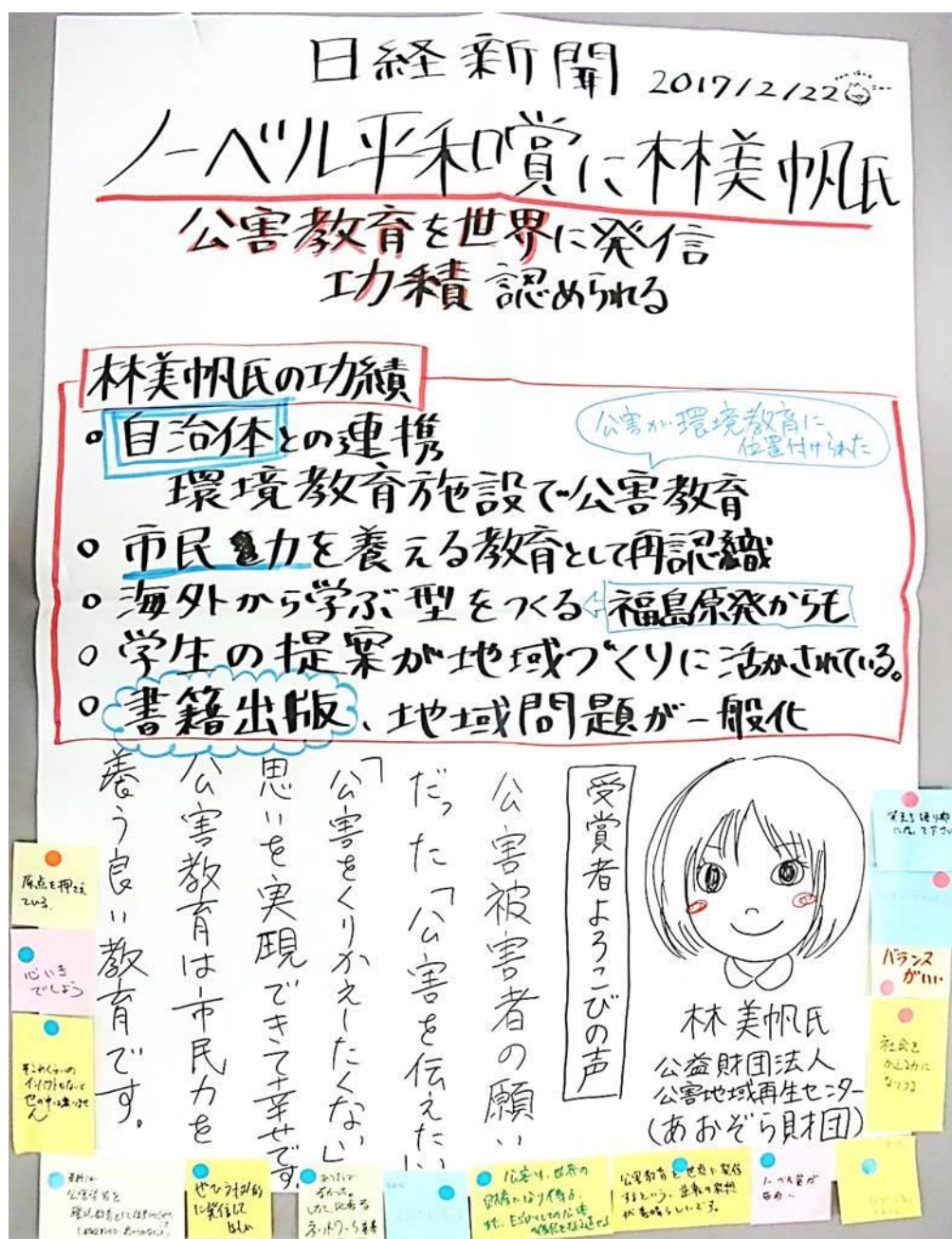


－平成 25 年度環境省地域活性化を担う環境保全活動の協働取組推進事業－
最終報告書

付録 4: 協働ギャザリング 2014(年度末報告会)－未来新聞

採択団体	紙面・記事タイトル
[1](公財)日本環境財団	100 万人でカーボンオフセット
[2](公財)公害地域再生センター(あおぞら財団)	ノーベル平和賞に林美帆氏
[3]知床ウトロ海域環境保全協議会準備会	知床スタイル 知床半島に浸透
[4](特活)もりねっと北海道	全学校 野外学習実施開始
[5](一社)持続可能で安心安全な社会を めざす新エネルギー活用推進協議会	東松島に環境専門大設立へ 日本初！！
[6](一社)五頭自然学校	ぼくのごはんマラソン開催決定！！
[7]いきものみつけファーム in 松本推進協議会	いきものみつけ米 農林水産大臣賞受賞
[8]越の国自然エネルギー推進協議会	最先端田舎“ひみ”が熱い！！
[9](特活)南信州おひさま進歩	地域環境権「さんぽ号」冬の人形劇フェスタで市民の足に 祝開通 1 周年記念
[10](特活)いけだエコスタッフ	池田市まるごとキッズニア!? 環境大臣賞受賞！！
[11](特活)人と自然とまちづくりと	100 万人突破！！
[12](公財)水島地域環境再生財団	水島エコツアー 参加者 1 万人突破！
[13]うどんまるごと循環コンソーシアム	香川発世界へ発信 ご当地まるごと循環プロジェクト はじまる！
[14](特活)グリーンシティ福岡	蘇る自然歩道(「山と溪谷」掲載)
[15](一社)小浜温泉エネルギー	オバマ元大統領が小浜に！市民温泉発電所を視察





【公益財団法人 公害地域再生センター(あおぞら財団)】

オホーツク新聞 2017年2月22日(？曜)

知床スタイル

知床半島に浸透



環境省
斜里町
北海道
羅臼町

共同で予算措置
環境＋観光＝両立化へ
中標町も検討 空港利用促進

① 世界自然遺産地域知床半島で
自然保護と地域産業の両立を
目指す動きが活発化している。

斜里町で活動を展開する
「ウトロ海域環境保全協議会」では、今年度
羅臼海域協議会との連携を発表。

環境省は平成29年度予算に知床
半島の海域保全対策として約
1,000万円を予定。さらに北海道、
斜里町、羅臼町との相互協力体制も
構築されつつある。

知床半島での永続的に
生態系のモニタリング調査実施

北方四島へも展開へ
領土問題を乗り越えて
日露共働事業へ

知床半島 国後島 択捉島

まもんに協力要請



2017年
うみどりウィーク
7月20日～7月31日

⑥ウトロ 会場
遺産センター

⑥羅臼 会場
ビジターセンター

知床日露海鳥シンポジウム

観光船ツアー毎日就航

日ハム 快進撃 10連勝

【知床ウトロ海域環境保全協議会準備会】

北海道新聞 平成27年2月22日 発行

全学校 野外学習 実施開始

旭川市環境教育協議会
構成図

旭川市内の全学校で環境学習が実施されることになった。野外学習について、平成26年10月より、環境協議会と検討してきた。旭川市内の小中学校では、フィールドガイドセットというキットを使った学習を行っているが、野外での活動へのニーズが高まり、昨年度は、緑地公園の整備を行った。

公園などの交通は、あさひんが担当。野外学習の日々指導は、環境協議会が所属するNPO法人が担当する。

野外フィールド
NPOによる
出前授業
バス会社

学校
トランクモット
身近なフィールド

CSRによる
環境学習の支援

せひ
（とら）

イキオン
重み物
セキミ
せひ！

自分たち
の力で
まわりの
環境を
まもろう

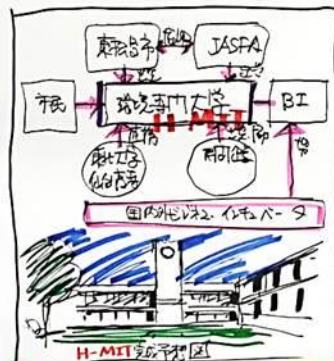
せひ
活やく
してはいい

日本経済新聞 2017年(平成29年) 2月22日(水曜日)

東松島に環境専門大学 設立へ 日本初!!

宮城県東松島市と一般社団法人JASFAは日本初となる環境系の専門大学を設立することと決め、準備委員会を立ち上げることとなった。平成二十三年三月十日の東日本大震災で被災した東松島市はJASFAと協定を結んで環境未来都市の将来の担い手育成に注力してきた。今回の専門大学設立は環境系の人材育成を進めるJASFAが提案し、人材輩出を地方から実現する狙いが強い。

官民協働取組から地方で人材育成を発展させ、大学の設立に至る構想を持ったのは、東松島市民が環境未来都市を復興するの夢と、そして、成功させることがあげられる。



【一般社団法人 持続可能で安心安全な社会をめざす新エネルギー活用推進協議会】

20 地域 新潟日報 2017年(平成29年)2月22日(水)

はぐのこはんマラソン
開催コース(概要)

有徳の里 ささかみの 笠原さん コース(主色)	夢の森(新と切る)→ 秋田清水(水)→ 石家さんの田んぼ (稲刈り)→ゴール
海の恵み ヒジモギ コース(副色)	福島(ヒジモギ)→ 徳一郎さん宅(ヒジ) 調理法を習う→ 秋田温泉(ヒジ)→ゴール
川がらの みぎつゆで まがはか コース(主色)	阿部里子(川がら)→ 谷中さん宅(みぎ) まがはか→ まがはか(みぎ)→ゴール
日本一の たまご料理 コース (副色)	宮尾さん宅(たまご)→ 豊栄の湯(たまご)→ まがはか(たまご)→ 秋田のしょうゆ (たまご)→ゴール

越後平野五頭とあわせて こはんマラソン

五頭自然学校(河野市)と協賛するTEAMに、水
のくが企画した「はぐのこはんマラソン」の開催がきまった。
同企画は白鳥たちがすすむ越後平野を走りつづける
「はぐのこはんマラソン」の企画がきまった。
五頭自然学校(河野市)と協賛するTEAMに、水
のくが企画した「はぐのこはんマラソン」の開催がきまった。
同企画は白鳥たちがすすむ越後平野を走りつづける
「はぐのこはんマラソン」の企画がきまった。

はぐのこはんマラソン開催決定!!

2017年 10月10日(水) トットの日



海鳥
week
2017

しれとこ 金沢市
私達も 水上マラソン 開催中

いものみけ
ファーム
in 松本

松本でも
開催中

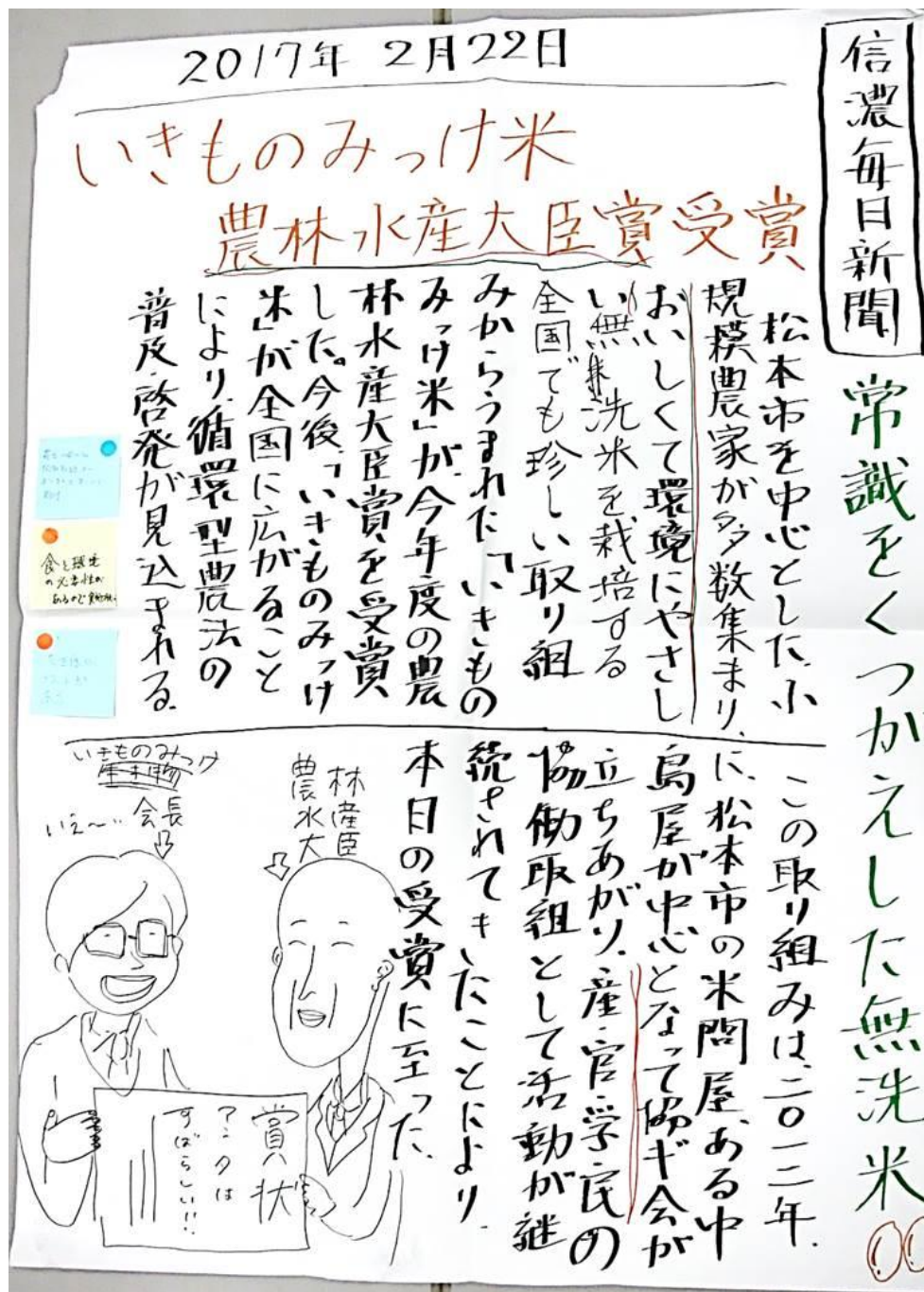
www.itsumomiki.jp



河野市緑地会

UNO PROJECT

私達も応援しています。



【いきものみつけファーム in 松本推進協議会】

BIOENERGY INTERNATIONAL <日本版> 2017年2月22日

最先端田舎“ひみ”が熱い!!

工業地帯の父と呼ばれる
浅野純一郎氏が
出陣であることが
縁。



川崎の工場と訪問
した木村浩志氏

CO2
削減活動

ひみ森の番屋は、越の国自然
エネルギー推進協議会の地域
活性化事業、10年間の成果
として、所目がオーパスと
なりました。

川崎京浜工業地帯
カーボンオフセット
提携



(写真: ひみ森の番屋)

ひみ成功の
キミツに迫る!!



ひみブリ豊漁
～薪のめぐみ～
(富士大学・県立大学・鶴田)
漁獲量の減少にいた
ひみブリが、豊漁に転じた
背景には、“ひみ森の番屋”
事業場下には、薪の輸入
の流通の効果が、
あつて見られる。
漁業者の協働で、薪を
海につけ、VPO（南花
土）している




勝福寺に新銭湯
地域交流拠点に!!

高工会議所の理解を得て
地域通貨を発行し、地域
活性化や地産地消に役立
て、県外からの観光客
を呼び込む計画を立てる



(高工会議所の
地区の活用)

原木買取地域通貨発行
百万円の大台に!!

DIY施工で
十分できる



面白いノ
環境を望む

面白いノ
環境を望む

面白いノ
環境を望む

【越の国自然エネルギー推進協議会】

2017年 2月 22日

2013年度 NPO 法人南信州おひさま進歩と 鶴田市公民館との
協働取組推進事業がスタートしています。

2016年に地域環境権の視察がきっかけにより、地域環境権の電気をもうけた。
コミュニティバスが産まれた。
幼稚園のバスの子育て世代の移住をもたらした。
風間(コト)バスとして買物貯蓄の支援に!!

(小笠原 孝)

地域環境権「さんぽ号」

冬の「人形劇」をスタで市民の口々に

祝開通ー周年記念

地域環境権の視察が殺到
全国に広がりはアジアからも。
市長は、おもてなしを検討中
各公民館にて養生された。
地域環境権「さんぽ号」に
近々相談をする予定。

(長谷川 裕介)

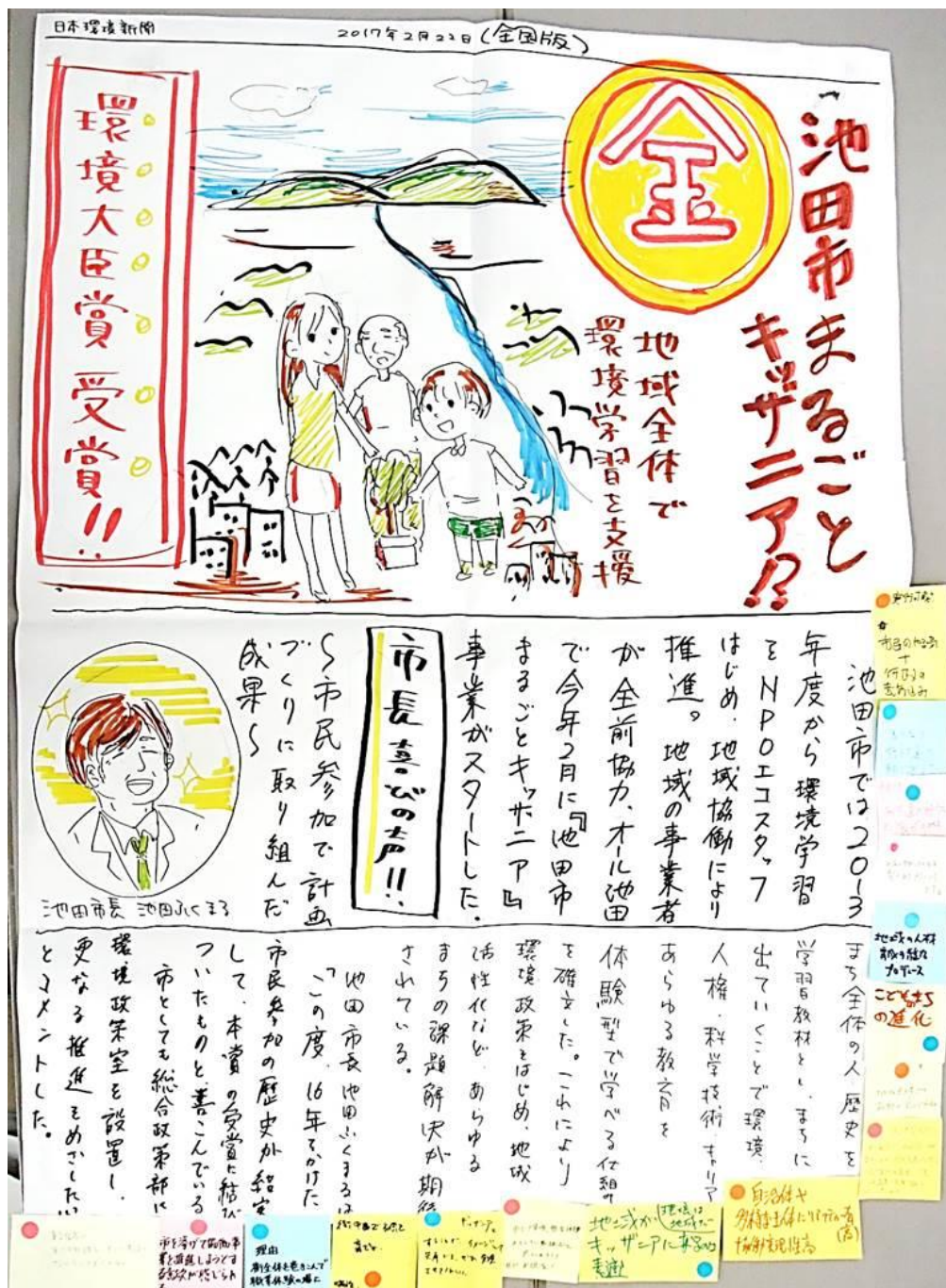
飯田南信州ポスト

社主: 村山 丈世
主筆: 高木 超
論議員: 長谷川 裕介

バス開業により、雇用が生まれ
地域に愛着を持ち、大企業者のウラン
をもたらし、上相地区の人口増加
にもつながった。(前田)

冬の「人形劇」をスタ
2月25日まで開催中
人形劇場にて。

すぐ実現
地域環境権の視察が殺到
全国に広がりはアジアからも。
市長は、おもてなしを検討中
各公民館にて養生された。
地域環境権「さんぽ号」に
近々相談をする予定。



【特定非営利活動法人 いけだエコスタッフ】

2017年(平成29年)2月22日 大阪毎日(全国版)

地域

突破 100 万人

大阪市のNPO法人
人と自然とまちづくりと

数年以前までは
絶好に食べ過ぎる
で、なかつた。尼崎の
ワカメやムール貝も
今なら食べられる

稲村尼崎市長の
コメント

祝!! 子供協議会 100万人突破!!

NPO法人人と自然とまちづくりとが3年と前より始めた子供協議会に参加した人数が100万人を突破した。子供協議会に参加した子供たちは地元の問題を自分たちで解決したいと自発的に行動、それぞれが活動の場を、なげ地道な活動が100万人に達した。

あの甲子園決まると
再び!!

昔は決まらなかつたけど、人、人、人、でいっぱいになった。工場排水で汚染が進み、人はよりつかななくなりました。100万人突破をきっかけに、昔の甲子園決まると同じように、関係者は語った。(平井 研)

あかめを便した
堆肥で菜の花畑

尼崎の工場地帯に黄菜の花畑が一面に広がるといふ。子供協議会のメンバーは尼崎の栄養(おこめ)をたっぷり含んだおこめを回収し、堆肥づくりにする。今年からはその堆肥を使用した菜の花畑10万haが菜の花で咲き満ちた。その後の菜の花の一部は子供たちに回収され、油にしてバイオディーゼル燃料や料理に使用される予定だ。参加者も募集中。問い合わせ先06-6701-1111。(平井 研まで)

自然体で
新規参加
を促す

子供が
協議会
に参加
する

堆肥17
トン
回収
した
おこめ
は、
堆肥
づくりに
使う

【特定非営利活動法人 人と自然とまちづくりと】

TIMES

2017.2.22

水島エコツアー参加者1万人突破!



倉敷市長が
「世界一の環境学習都市水島」を
宣言

2013年に地球の国体と立ち上げた協議会が主催する「水島エコツアー」の参加者が1万人を突破し、市内の環境学習センターで記念式典が開催。1万人目の参加者には、市長から記念品が贈呈された。

「水島百選」完成披露

水島のいい所を紹介した「水島百選」（地域住民や企業による選出）がまとまり、紹介したマップとともにお披露目された。1万部印刷され、水島地域内企業・商店などに入手可能。

水島エコツアー
地元に着

水島の公害経験や教訓、企業の環境対策、行政の整いの取り組みなどを学ぶエコツアーが、地元の肉店や団体より取り組まれている。工場夜景を見ながら、企業の技術や公害の歴史を学ぶ夜景クルーズが大好評。

大学生による
まちなか講座 OPEN!

大学生が商店街の空き店舗を活用して、環境や科学技術について学べる講座を開始した。オープンの日、地元の小学生を中心に多くの人が来てくれた。

環境省

JXB 鉄石工業

連島 水島

岡山大学 地域連携

協働に関わる相違点 EPO 水島

水島エコツアー

水島百選

水島エコツアー

水島エコツアー

水島エコツアー

四国新聞 2017/2/22

香川発 世界へ発信

うどんまるごと循環プロジェクト

はじまる!!



かがわごきんぎょうプロジェクト「うどん県」

3年前にスタートしたうどんまるごと循環プロジェクトのビジネスモデルが、世界に向けて発信されることになった。県内の小規模うどん店で発生する残渣の処理が課題だったが、香川県が作成した



うどん大使・香川氏（うどん県副知事）

「のソウルフード
香川といえはうどん」

環境教育DVDやうどん店の協力、市民参加が促進され、当初は、発電のみの利用が、畜肥や飼料等への展開が、ちまたに作所もはじめとする研究開発部会の成果も加わり、採算のあう仕組が確立された。既に国内では、素麺やちゃんぽんプロジェクトへのモデル展開がはじまっている。【うどん県】の米やパスタ、ご当地食材への適用も可能。地域の協働を基軸としたまるごと循環ビジネスは、世界へはじまこうとしている。

うどん県は、うどんの産地として、うどんの魅力を発信し、うどんの文化を伝えることを目指している。

うどん県は、うどんの産地として、うどんの魅力を発信し、うどんの文化を伝えることを目指している。

うどん県は、うどんの産地として、うどんの魅力を発信し、うどんの文化を伝えることを目指している。

ビジネスモデルの展開

ビジネスモデルの展開

ビジネスモデルの展開

【うどんまるごと循環コンソーシアム】





【一般社団法人 小浜温泉エネルギー】